来2月24日年 創立50周年記念式典

広島電工組 第34期通常総代会

総代会会場

総代会であいさつする村上理事長

総代会閉会の辞を述べる本計副理事長

広島県電気工事工業組合は5日、市内中区のメルパルク広島で「第34期通常総代会」を開催した。この中で、組合が来年創立50周年を迎えることからその記念式典を来年2月24日に開催することや、青年部研修交流会の実施といった新年度事業計画のほか、役員欠員に伴う補充など8議案が上程されすべて承認・可決した。

総代会は、まず、木村鐵男専務理事の司会ではじまり、あいさつに立った村上理事長は、日ごろの組合への協力に感謝の意を表すとともに、昨今の景況に触れ「アベノミクス効果で我々の業界も多少ではあるが、上昇気流に乗った兆しが見えつつある」と現状を認識。続けて、来年迎える組合創立50周年にも言及し、「盛大なお祝いにしたい」と周年記念計画の一端を披露した。

続いて議長の選出に移り、恒例によって、村上理事が議長に選出され議案審議が始まった。

今回上程された議案は「平成25年度事業報告、決算」や「平成26年度事業計画案、予算案」、「総代と役員の補充」など8議案。

各議案は、担当者から詳細に説明されるとともに、出席者に諮られた後、すべて承認・可決した。

表彰式

村上誠理事長あいさつ

昨年、理事長に就任したが、皆様のおかげで無事1年を過ごすことができた。感謝申し上げる。

さて、我が国の経済情勢はアベノミクスによって、景気が高揚し、我々の業界も多少ではあるが、上昇気流に乗った兆しが見えつつある。組合員企業も同様に、減少傾向から多少ではあるが上昇に転じている。

また、第一種電気工事士定期講習は、同じような講習実施機関が増えていることから、選ばれるように我々も努力を払っていかなければならない。

さらに、当工組は今年度創立50周年を迎えることになった。来年には50周年の行事を計画しており、皆様方とともに、お祝いをしたいと考えている。盛大なお祝いになれば幸いである。よろしくご協力のほどをお願いしたい。

来賓祝辞・上から山岡中国電力配電専任部長、金口広島県議会議員

その中で、「総代と役員の補充」については、竹原支部の総代が1人欠員になっていることから、日電工（㈱）の山野隆明社長が候補者として提示され、承認・可決。また、役員の補充についても同様に山野氏が選任された。

26年度の事業計画については、次の10項目を推進することになった。

①組織の強化と充実
・電気工事業全国大会へ研修参加（H26年1月29日東京）
・組合創立50周年記念式典の実施（H27年2月24日）
②安全管理の徹底とゼロ災害の達成
③電気工事施工品質の向上（不適切工事・行為の撲滅と施工証明への対応）

④一般用電気工作物定期調査業務および電気給湯機型式確認の確実な実施
⑤提案型営業の積極的な推進
⑥電気使用安全月間（8月）運動の充実
⑦第29回技能競技大会の開催（H26年10月29日、広島産業会館西展示館）

中締めを行う梅澤副理事長

乾杯の音頭をとる谷口中国電力所長㊨と一同乾杯

⑧関係諸官庁・中国電力㈱並びに関係団体との連携強化
⑨後継者育成と青年部の自主活動、組合事業への参加▽青年部研修交流会の実施（H26年6月14日、福山）
⑩所属組合員の福利厚生の充実

最後に、本計忠臣副理事長が「先ほども理事長が話されたが、来年は50周年と

司会を務める木村専務理事

いうことで、素晴らしい周年を皆様のお力添えで開催したいと思っている。今後ともよろしくお願い申し上げる」と閉会のあいさつを行い総代会は終了した。

◇表彰式◇

総代会後に開かれた「第31回組合員・従業員・職員表彰式」は毎年、同工業組合の重要な行事の一つとして実施。電気工事の発展に貢献した人や電気工事の確保に顕著な功績が認められた人に贈る組合員表彰、仕事上優良な人に贈る従業員表彰、10年以上勤続し、他の模範となる組合員職員表彰に分かれている。

今年度は、組合員表彰18人、従業員表彰31人、職員表彰1人の合計50人が村上理事長から表彰を受けた。

式典は、池久保典也池久保電工社社長が司会をつとめ、来賓として山岡博中国電力お客様サービス本部配電専任部長のほか、谷口雅彦同広島営業所長、金口厳広島県議会議員、栗栖重久（一財）中国電気保安協会広島支店支店長、増山譲二広島県電設資材卸業協同組合事務局、高野広志東芝ライテック中国・四国電材営業部部長、出谷英之パナソニック エコソリューションズ社広島電材営業所所長ら多数の来賓を迎えて盛大に行われた。

出席した来賓の中から、山岡中国電力部長が、「全国の原子力発電所が再稼働されず、電力事情はますます厳しい状況となっている。中国電力は、一定の予備力を確保できる見込みだが、中日本、西日本全体では大変厳しい需給が予想されている。当社は中国地方の安定供給はもとより、中・西日本全体にも貢献できるように、火力発電所の補修・点検、安全運転に万全を期したい。引き続いて無理のない節電にご協力を願いたい」と一層の協力を要請して祝辞を結び、式典に花を添えた。

最後に、受賞者を代表して組合員表彰を受けた広島支部の佐木泰司平成電工㈱社長が謝辞を述べて式典はすべて終了した。

この後、会場を移して受賞者を囲んだ懇親会が開かれた。

最初に、中国電力広島営業所の谷口所長が乾杯の音頭をとり開宴。和やかな雰囲気の中で、早速名刺交換や情報交換などが行われた。

宴たけなわには、梅澤勝治副理事長（大和電気工事㈱社長）が閉会のあいさつを行い、一本締めで締め括り、全ての行事を終えた。

関西電気工事工業会青年部連合会 第4回通常総会

第4回通常総会

記念撮影

今年度活動方針決める

関西電気工事工業会青年部連合会（林貴靖会長）は20日、客船〝ビアンカ〟で「第4回通常総会」を開催した。

宮原克尚幹事長の司会で始まり、黙祷の後、林会長は「本来なら2、3歩前を見ながら進めるのがいいのかも知れないが、私は半歩前をみながら、皆さんのご意見を聞きながら組合を進めていきたい」とあいさつ。

林会長を議長に選任した後、議案審議に入り、第1号議案・2013年度事業報告（朝間一議副会長）、同収支決算（荻野浩志副会長）、監査報告（宮崎雄次監事）、第2号議案・2014年度事業計画案（西俣佳則副会長）、同2014年度収支予算案（荻野副会長）が上程され、いずれも承認された。

あいさつする林会長

司会を担当する宮原幹事長

監査報告する宮崎監事

あいさつする竹村幹事

議案を報告する上から朝間副会長、荻野副会長、西俣副会長

2014年度の活動方針は次の通り（抜粋）。

◎ネットワークの更なる強化

青年部に加入しての一番のメリットは「会員同士の横の繋がり」。活動を通じて会員間のネットワークを強化していくとともに、関係団体の皆様とのネットワーク構築に取り組む。

また親会の会議では都度活動報告を行い、親会の皆様との信頼関係を強化していく。

◎組織基盤の強化

組織としての重要な役割は、全会員に至るまで情報を伝えること、情報をもとに組合員からの意見や要望を聞き出し活動に繋げることと考える。情報ツールの活用や府県支部代表者会議の開催をもとに、皆様との情報共有を行っていく。また活動の拠点となる各府県・各支部の活性により、組織全体の活性化に繋がると考えるので、府県・支部青年部事業の視察にも少しずつ取り組み、事業を通じて業界PRを推進していく。

◎全日電工連全国青年部協議会への協力

役員一同

関西の総意として、堀口相談役を全国青年部協議会会長として送り出したという意識を持ち、関西全体でバックアップしていきたいと考える。堀口会長が掲げる「全国青年部一本化」の方針をもとに、会員の意識統一を図っていく。

また、全国青年部協議会事業や各ブロック青年部の会員大会にも積極的に参加し、全国へとネットワークを広げていく。

なお8月30日、「第4回会員大会」をホテル大阪ベイタワーで開催する。

第3号議案で2014年度幹事追加選任の件で、和歌山県の竹村克治氏が追加選任され、総会は終了した。